

委員会 視察報告

よりよい議会運営の実現に向け、他市の先進事例を学ぶために、去る1月24日～25日に行政視察を行いました。その概略をご紹介します。

なお、議会図書室や市議会ホームページにて、視察報告書をご覧ください。

議会運営委員会

御殿場市「一般質問の通告の取り組みについて」 犬山市「特色ある議会運営について」

御殿場市 御殿場市議会では、通告書様式を統一、簡素化し、論点を明確にした解りやすい形で公表することにより、市民の傍聴選択の材料として活用されるほか、緊張感が希薄になりがちとの懸念はあるものの、議員が求めるものは何か、一般質問の有効活用を探求された結果、かみあった議論をするために、綿密な「すり合わせ」を実施されています。これは、市民にとって分かりやすいものとなるとともに、通告外発言を防止し、議員としての考え方を効果的に伝えていく有効な手法の一つだと思われるので、今後の本市における発言通告制度のあり方の参考としたいと思います。

犬山市 犬山市議会では、討議を中心に政策提言につながる取り組み、徹底した公開への仕組み、また正副議長が直接市民の声を聞く「オープン議長室」の実施、討議ツールとしてのパソコンの議場持込を認めるなど、様々な制度改革を実現されていました。特徴の一つに、全員協議会中心主義というべき運営があり、議員全員での討議により、様々な意見調整や迅速な合意形成を図



犬山市議会での研修風景

っておられます。このことは、本市議会において進める議会改革においても、開かれた討議を基本として、いかに議会として合意形成を果たすのか等において、たいへん参考となるものでした。

議会改革推進 特別委員会報告

議会改革推進特別委員会では、議会基本条例の制定に向けて、個別具体的なテーマに沿った委員間討議をもって、ポイント整理を進めています。平成25年に入り、3回の委員会を開催しましたが、そこで挙げられたテーマについて、いくつかをご紹介します。

議会の通年化

- ・議会として、機動的で臨機応変な対応が可能になる。
- ・現状を鑑みて、通年化する必要があるのか。
- ・会期を延ばすだけでなく、開催時間等についての検討も必要である。
- ・現時点では、メリット・デメリットがはっきりしない。

適正な行政の監視および評価

- ・議員や会派の意見を、議会や委員会としての意思形成に結びつけなければならない。
- ・議員は民意を背負っており、行政とは異なる視点でチェックをしなければならない。
- ・執行部から提供される情報は増加してきているが、しっかりとその把握に努める必要がある。

議員間討議

- ・現状では、議員間の討議の場が少ない。
- ・委員会の枠を超えた横断的な議論をする場をつくる必要がある。
- ・議員間討議の結果を、行政側に反映していくよう、制度化すべきである。
- ・政策提言のためには、執行部との討議だけでなく、十分な議員間の討議が必要である。
- ・議員間討議の気風の醸成が必要である。

議員定数

- ・定数を減らして、議論できなくなった議会もある。
- ・様々な価値観や多様性をもった議員の誕生が期待できる体制をつくる必要がある。

これらの議論は今後も継続して行います。